

お盆

第65号



◆「少水よく石を穿つ」 会長 奥野 秀典	2
◆平成 24 年度 第一回研修会報告	3
◆平成 23 年度 事業報告	4
◆平成 23 年度 決算書	5
◆平成 24 年度 事業計画	6

◆平成 24 年度 予算書	7
◆禅語に親しむ	8
◆サンタピアップ活動報告	9
◆平成 24 年度 定例総会報告	10
◆事務局だより	10

「少水よく石を穿つ」

宮城県曹洞宗青年会

会長 奥 野 秀 典



昨年度の宮曹青活動は、僅かな力ではありますが被災地復興支援活動に邁進した一年となりました。これも偏に物心両面に陰に陽にご協力ご支援頂きました皆様方のお陰と深く御礼申し上げます。

県内の被災地に於いても地域での進捗の差や課題は以前としてあるものの、着実に復興に向け進んでいるように見受けられます。

当会の活動も復興に向け今年度は出来る範囲で例年の事業を行い、昨年同様復興支援活動にも力を注いで参る所存です。

過日開催されました第一回研修会においては、全曹青災害復興支援部と宮城県社会福祉協議会、亘理町社会福祉協議会から講師をお招きし、全曹青からは震災以降継続して行っている行茶傾聴活動の意義を学び、各社協の方々からは、その立場でのこれまでの活動とこれからの課題等をご講義頂き、

大変貴重な研修会となりました。

昨年度ご寺院様や葬儀会館などをお借りして月命日法要を行った際に、ご遺族の方から亡くなった場所で供養して頂きたいとの声が多く、今年度はお亡くなりになった方々への慰霊とご遺族の方や地域の方々の安心を目的に「被災地慰霊行脚」を行います。さらに復興支援活動の一つとして「亡き人への手紙」を募集し、「言いたかったのに言えなかった。間に合わなかった。」思いを手紙を書く事によって、ご遺族の方の心が整理され、少しでも悲しみが癒え、自らが新たな一歩を踏み出すきっかけの一助となる様、県内御寺院様や特別会員様、県内の社会福祉協議会様のご協力を得ながら呼びかけて参ります。事務局へ届けられた「亡き人への手紙」は開封せずに来年三月に予定しております東日本大震災三回忌法要の時にお炊き

上げ供養いたします。

また、昨年度は特別会員様と交流する機会もありませんでしたので、お互いの研修、意見交換や親睦を深める為、会員大会を年明けに開催する予定です。会員名簿につきましては、一年遅れとなりましたが発行することが出来ました。

最後に、当会が主管するサンタピアップみやぎボランティア会では、震災後カンボジアから震災見舞いの義援金や心温まるカンボジアの子供たちからの絵やメッセージが届けられ、今まで築き上げたカンボジアと日本との絆を深く感じました。県内の支援者の中には津波で汚れてしまったハガキや切手を「カンボジアの子供達の為に」と提供して頂く方も居りました。今年はカンボジア教育支援チャリティバザーを開催し、さらに絆を深めて参りたいと思います。どうか皆様のご支援ご協力をお願い致します。今年度も「少水よく石を穿つ」の旗標のもと、宮曹青活動、復興支援活動に精進して参ります。当会に対しまして今後とも皆様の御指導ご鞭撻、活動の御理解ご協力をお願い申し上げます。

合掌

平成二十四年度 第一回研修会報告



講師を務める久間泰弘師・宮下俊哉師

今年度第一回研

修会が七月五日に
仙台市林香院様を
会場に開催されま
した。講師に全曹
青災害復興支援部
アドバイザー久間
泰弘師、宮下俊哉
師、社会福祉協議
会から北川進氏、

佐藤寛子氏をお招きして、『行茶活動の
意義とこれまでの活動とこれからの活動
を考える』をテーマに講習していただき
ました。

講習は質問に「一択の『yes』、『no』」で
答え、また事例を挙げそれを幾つかのグ
ループに分かれて話し合い意見を出す、
それに講師先生が実例等を挙げてどのよ
うに対応すべきなのか。その立場の違いに

よって出てくる意見を示してくれま
した。その中で傾聴はテクニクでは
なく心構え。相手の言おうとしている
ことの意味を聴き、気持ちに応えよう
とする事を心掛け、いつも聴かせて頂
いているというスタンスを忘れてはい
けないということでした。

実際の活動としては昨年の三月二十日
より今年の五月末までに全国曹洞宗青年
会を通じてボランティア活動に参加され
た団体が九十団体、のべ人数二七〇〇人
余、そのうち行茶活動にはのべ一四〇〇
人余、一〇〇〇〇人を超える方にお茶等
をお配りしお話されたそうです。避難所
と仮設住宅での行茶活動の違いは、避難
所ではお茶を配りながら個々の話しを最
後まで聞く事、仮設住宅ではそこに住ま
われている方々の横のつながりをつなげ
るコミュニティ作りが大切である。つま

り行茶活動のこれまでとこれからは、行
茶をきっかけにして知り合って頂き、個
人個人の関係を深めていく手助けをす
る。個人の自立から集団（地域）が日常
生活へ戻る事を行茶を通じて支援、補助
をしていく事。

今回の研修会で講師先生方には実例を
交えての貴重なお話しを聞かせていただ
きました。これから青年宗侶として、現
在ある問題、この先起こり得る可能性が
ある問題に対して、何ができるのか。一つ
の正解がある問題では無いと思います

が、その場その時
役割立場に応じて
考え行動していかな
ければいけない
と改めて考えさせ
られました。

研修委員

秀麗齋副住職

長澤 信慈



研修会の様子

平成23年度 事業報告（関連事業も含む）

■宮城県曹洞宗青年会

月 日	事 項	会 場	備 考1	備 考2
(平成23年)				
5月25日	監査会	林香院(仙台市)		
//	役員会①	//		
//	理事会①	//		
6月10日	定例総会	林香院(仙台市)		51名
6月22日	プレス①発行			
7月 3日	サンパニアアップみやぎボランティア会定例総会	林香院(仙台市)		
7月 8日	韓国曹溪宗・曹洞宗合同 東日本大震災物故者慰霊法要	林香院(仙台市)		宮曹青役員10名随喜
7月27日	役員会②	慶雲院(名取市)		
8月 1日	理事会②	//		
8月 5日	会報「無聖」63号発行	慶雲院(名取市)		
9月15日	役員会③	菩提樹矢本		
10月 1日	復興支援バザー	17教区双林寺様(栗原市)	来場者延べ465名	前日準備併せて 143名出席
10月25日	役員会④	慶雲院(名取市)		
//	理事会③	//		
10月29日	プレス②発行			
12月 9日	役員会⑤	慶雲院(名取市)		
//	理事会④	//		
12月15～16日	カンボジアフェア	S E L V A (仙台市)		延べ24名出席
12月21日	臨時総会	ホテルニュー水戸屋(仙台市)		39名
//	研修会「避難所寺院の実情に学ぶ」 講師 副会長 北村暁秀師	//		
12月29日	プレス③発行			
(平成24年)				
2月14～15日	ハガキリサイクルキャンペーン	建立寺(石巻市)		延べ22名出席
2月17日	役員会⑥	慶雲院(名取市)		
2月20日	現職研修会「被災地におけるボランティア」 宮曹青活動報告	ホテルニュー水戸屋(仙台市)		奥野会長、門脇顧問、 事務局長
3月 5日	東日本大震災一周忌法要並びに復興祈願法要	仙台サンプラザホール	来場者延べ1500名	88名出席
3月29日	役員会⑦	慶雲院(名取市)		
//	理事会⑤	//		
3月下旬	会報「無聖」64号発行			

※この他「三役会」「役員打合せ」を随時開催

■東北地区曹洞宗青年会連絡協議会(地協)

(平成23年)				
4月25日	常任幹事会・定例幹事会	メトロポリタン盛岡(盛岡市)		奥野会長、門脇顧問、 事務局長
10月20日	東北地方集会「青森大会」	常光寺(青森市)		10名出席

■全国曹洞宗青年会

(平成23年)				
5月18日	全国曹洞宗青年会定期総会	東京グランドホテル(宗務庁)		奥野会長、事務局長
(平成24年)				
3月11日	東日本大震災一周忌法要	成林寺(福島県伊達市)		奥野会長、事務局長

平成23年度宮城県曹洞宗青年会決算書

■収入の部

単位：円

項 目	当 初 予 算	補正予算額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
I 会 費 収 入	0	0	0	0	
1. 正 会 員	0	0	0	0	
2. 賛 助 会 員	0	0	0	0	
3. 特 別 会 員	0	0	0	0	
II 活動協力支援金	1,900,000	5,298,900	5,673,900	375,000	新設項目
1. 県 内	600,000	2,170,000	2,265,000	95,000	教区青年会、県内御寺院、宮城県宗務所、賛助会員、個人
2. 県 外	800,000	2,180,000	2,460,000	280,000	全国各曹青会、寺院(復興支援活動に充当)
3. そ の 他	500,000	948,900	948,900	0	復興支援バザー売上(復興支援活動に充当)
III 助 成 金	300,000	0	0	0	宗務所より
IV 雑 収 入	3,873	9,973	10,134	161	宗務所献香戻り、利子
V 繰 越 金	1,076,127	1,076,127	1,076,127	0	
VI 繰 入 金	1,040,000	1,040,000	914,581	▲ 125,419	
1. ボランティア基金	540,000	540,000	414,581	▲ 125,419	復興支援活動に充当
2. 特別事業準備金	500,000	500,000	500,000	0	会務運営・復興支援活動に充当
合 計	4,320,000	7,425,000	7,674,742	249,742	

■支出の部

単位：円

項 目	当 初 予 算	補正予算額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
I 会 議 費	140,000	140,000	148,650	8,650	
1. 総 会 費	30,000	30,000	64,650	34,650	定例総会(林香院様) 臨時総会(水戸屋様)
2. 理 事 会 費	25,000	25,000	25,000	0	会場費
3. 役 員 会 費	35,000	35,000	35,000	0	会場費
4. 委 員 会 費	50,000	50,000	24,000	▲ 26,000	ボランティア委員会 広報編集委員会
II 事 務 費	1,130,000	1,280,000	839,488	▲ 440,512	
1. 消 耗 品 費	100,000	100,000	23,402	▲ 76,598	事務用品、用紙代等
2. 通 信 費	500,000	600,000	389,749	▲ 210,251	郵送料、振込手数料、電話料、HP基本料金
3. 印 刷 費	150,000	200,000	64,157	▲ 135,843	封筒印刷、プリンタインク代補助等
4. 備 品 費	150,000	150,000	150,000	0	ソフトウェア代、事務機使用料
5. 慶 弔 費	30,000	30,000	12,180	▲ 17,820	慶弔電報等
6. 事 務 諸 費	200,000	200,000	200,000	0	事務局・庶務・会計事務費補助等
III 事 業 費	750,000	1,200,000	774,472	▲ 425,528	
1. 研 修 委 員 会	0	0	0	0	
2. ボランティア委員会	150,000	100,000	99,052	▲ 948	復興支援バザー
3. 広報編集委員会	400,000	400,000	366,500	▲ 33,500	『無聖』発行×2回、HP管理費等
4. 交流事業委員会	0	0	0	0	
5. 教 化 費	0	500,000	299,280	▲ 200,720	クリアファイル作成費
6. 事 業 諸 費	200,000	200,000	9,640	▲ 190,360	旅費補助(全曹青・地協議参加者)等
7. 会員名簿作成費	0	0	0	0	
IV復興支援活動費	2,000,000	3,965,000	1,704,686	▲2,260,314	新設。主に県外協力金、ボランティア基金、復興支援バザー売上
V 負 担 金	150,000	150,000	135,500	▲ 14,500	全曹青・地協会費
VI 予 備 費	50,000	590,000	0	▲ 590,000	
VII 雑 費	100,000	100,000	80,804	▲ 19,196	渉外活動費等 各会議飲み物代
VIII 繰 出 金	0	0	0	0	
合 計	4,320,000	7,425,000	3,683,600	▲ 3,741,400	

■特別会計決算書

総 収 入 7,674,742 円

総 支 出 3,683,600 円

差 引 3,991,142 円

ボランティア基金 1,000,000 円

特別事業準備金 3,101,082 円

平成23年度の決算書を上記の通り提出致します。

平成24年4月19日 会長 奥野 秀典 ㊞

監査報告

平成24年4月6日、4教区慶雲院様において監査を行い
平成23年度一般会計が正確であることを確認いたしました。

監事 根来 興宣 ㊞

監事 本田 賢也 ㊞

監事 岩崎 芳信 ㊞

平成24年度 事業計画

月 日	事 項	会 場	備 考
(平成24年)			
4月 6日	監査会	慶雲院(名取市)	
4月13日	理事会①	慶雲院(名取市)	
4月19日	定例総会	ホテルニュー水戸屋(仙台市)	
6月 8日	理事会②	慶雲院(名取市)	
7月 1日	サンタピアップみやぎボランティア会定例総会	林香院(仙台市)	サンタピアップ関係
7月 5日	第1回研修会	林香院(仙台市)	
8月 1日	「無聖」65号発行		
9月12日	梅花県奉詠大会	仙台市体育館	サンタピアップ関係
10月上旬	カンボジア教育支援チャリティバザー	仙台市泉区「根白石市民センター」	
10月上旬	理事会③	未定	
12月上旬	理事会④	未定	
12月中旬	年次総会・忘年会	未定	
(平成25年)			
1月下旬	第2回研修会(ボランティア委員会合同)・会員大会	未定	
2月上旬	ハガキリサイクルキャンペーン	未定	サンタピアップ関係
3月上旬	移動研修会	未定	
3月中旬	理事会⑤	未定	
3月下旬	「無聖」66号特別号発行		
未定	カンボジアフェア	未定	サンタピアップ関係

※役員会・各委員会・事務局会は適宜開催

■東北地区曹洞宗青年会連絡協議会(地協)

(平成24年)			
4月25日	常任幹事会・定例幹事会	ホテルルイズ(盛岡市)	
11月13日	東北地方集会「山形大会」		

■全国曹洞宗青年会(全曹青)

(平成24年)			
4月26日	仏法興隆花まつり千僧法要	東大寺大仏殿(奈良県)	
5月25日	全国曹洞宗青年会定期総会	東京グランドホテル(宗務庁)	

平成24年度宮城県曹洞宗青年会予算書

■収入の部

単位：円

項 目	今年度予算額	前年度予算額	比 較 増 減	備 考
I 会 費 収 入	2,985,000	0	2,985,000	
1. 正 会 員	1,600,000	0	1,600,000	10,000円×160名
2. 賛 助 会 員	665,000	0	665,000	5,000円×133名
3. 特 別 会 員	720,000	0	720,000	10,000円×72団体
II 活動協力支援金	0	5,298,900	▲ 5,298,900	東日本大震災の支援金
1. 県 内	0	2,170,000	▲ 2,170,000	教区青年会、県内御寺院
2. 県 外	0	2,180,000	▲ 2,180,000	全国各曹青会、御寺院
3. そ の 他	0	948,900	▲ 948,900	復興支援バザー売上
III 助 成 金	300,000	0	300,000	宗務所より
IV 雑 収 入	3,858	9,973	▲ 6,115	利子、その他
V 繰 越 金	3,991,142	1,076,127	2,915,015	
VI 繰 入 金	0	1,040,000	▲ 1,040,000	
1. ボランティア基金	0	540,000	▲ 540,000	復興支援活動に充当
2. 特別事業準備金	0	500,000	▲ 500,000	会務運営・復興支援活動に充当
合 計	7,280,000	7,425,000	▲ 145,000	

■支出の部

単位：円

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較 増 減	備 考
I 会 議 費	260,000	140,000	120,000	
1. 総 会 費	100,000	30,000	70,000	定例総会、年次総会
2. 理 事 会 費	25,000	25,000	0	会場費
3. 役 員 会 費	35,000	35,000	0	会場費
4. 委 員 会 費	100,000	50,000	50,000	委員会・事務局会開催費
II 事 務 費	1,250,000	1,280,000	▲ 30,000	
1. 消 耗 品 費	100,000	100,000	0	事務用品、用紙代等
2. 通 信 費	600,000	600,000	0	郵送料、振込手数料、電話料、HP基本料金
3. 印 刷 費	150,000	200,000	▲ 50,000	封筒印刷、プリンタインク代補助等
4. 備 品 費	150,000	150,000	0	ソフトウェア代、事務機使用料
5. 慶 弔 費	50,000	30,000	20,000	慶弔電報等
6. 事 務 諸 費	200,000	200,000	0	事務局・庶務・会計事務費補助等
III 事 業 費	2,450,000	1,200,000	1,250,000	
1. 研 修 委 員 会	300,000	0	300,000	研修会×2回、移動研修
2. ボランティア委員会	200,000	100,000	100,000	チャリティーバザー、ボランティア研修会
3. 広報編集委員会	900,000	400,000	500,000	『無聖』発行×2回、HP管理費等
4. 交流事業委員会	100,000	0	100,000	会員大会
5. 教 化 費	300,000	500,000	▲ 200,000	
6. 事 業 諸 費	200,000	200,000	0	旅費補助(全曹青・地協議参加者)等
7. 会員名簿作成費	450,000	0	450,000	第22期会員名簿作成
IV 復興支援活動費	0	3,965,000	▲ 3,965,000	特別会計新設により支出なし
V 負 担 金	150,000	150,000	0	全曹青・地協会費
VI 予 備 費	551,205	590,000	▲ 38,795	
VII 雑 費	200,000	100,000	100,000	渉外活動費、各会議茶菓等
VIII 繰 出 金	2,418,795	0	2,418,795	
ボランティア基金	100,000	0	100,000	ボランティア基金に繰り出し
特別事業準備金	200,000	0	200,000	特別事業準備金に繰り出し
復興支援活動金	2,118,795	0	2,118,795	復興支援活動金(新設)に繰り出し
合 計	7,280,000	7,425,000	▲ 145,000	

■特別会計決算書

ボランティア基金 1,100,000 円

特別事業準備金 3,101,082 円

復興支援活動金 2,118,795 円

総 収 入 7,280,000 円

総 支 出 7,280,000 円

差 引 0 円

平成24年4月19日 会長 奥野 秀典 ㊞

平成24年度の予算書を上記の通り提出致します。

「禅語に親しむ」

松山 宏佑 老師紹介

仙台市若林区、昌林寺住職。元曹洞宗宮城県宗務所教化主事。現在は曹洞宗宮城県宗務所布教委員会副委員長、曹洞宗宮城県布教師協議会会長を務めるなど、各方面にて活躍されております。

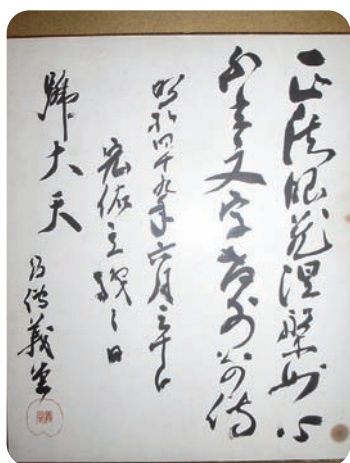
我宗は禅宗のひとつとして「不立文字」「教外別伝」を標榜しておりますが、永い年月の間多くの諸師方が様々な「言葉」を遺しております。その多くの言葉の中から一つを選び續いていきます。表題の「禅語」にはその定義や範囲に様々な考えがありますが、ここでは広義として多くの諸師方の言葉と捉えております。

「以心伝心」

(いしんでんしん)

第一教区 昌林寺住職

松山 宏佑



私が立職したのは、昭和四十九年六月である。授業師である当時の昌伝庵住職中幡義堂大方丈に立職した記念にと号を頂き、それに加えて色紙をも書いて頂いた。「正法眼蔵 涅槃妙心 不立文字

教外別伝」である。今回寄稿に当たってその意味を改めて吟味をすることになり、愈々動揺が起きてきた。書いて頂いた当時の情景を思い起こしたからだ。あの時、中幡方丈はウーンとうなり、しばらくの間をおいてから書き始めた。その様子を眺めていた私は、まだ無邪気なもので、禅の言葉が並んでいて格好いいなあぐらいの気持ちでいた。書き終えた方丈に最初に尋ねたのも、格好がいいなあという印象のまま、どのようにしたらそのような文字が書けるようになるのですかと、筆の習いについてなのも、ごく自然のことであった。そのようなことを思い返すと、無邪気とも言ってられない今の私なら、とてもお願いができないと一人苦笑するしかない。

『禅宗小辞典』(宝蔵館)によれば、『心を以て心に伝つ』と訓ずる。教外別伝・不立文字の語句と同様に、禅宗で悟りの極意を伝える意に用いる常套語。〈略〉後には不立文字などともに菩提達磨の話とされるようになった『禅源諸詮集都序「上」』〈略〉転じて一般に、会話によらずに互いの心が通じあう意に

用いる。↓不立文字・拈華微笑』と説明されている。

拙寺において、二十年くらい前から新亡を出された檀家宅にいわゆる中陰表と共にお配りしている『曹洞宗満中陰日めくり』(青山社)がある。その中の四十四日に「ころへ伝わるいのちの触れあい」と大きくタイトルがあり、『以心伝心』という言葉は、一般にもよく使われますが、もとは禅語で、文字や經典によらずに師と弟子が面授(相対)して、心から心へ正伝の仏法を伝えることです。同じような意味を持つ禅語に「教外別伝」とか「不立文字」などがあります昔お釈迦さまが、靈鷲山で説法をするときに(何も口に出さず)華を拈つまんで見せたところ、弟子の摩訶迦葉だけがその本意を悟って微笑したという故事が伝えられています。これを「拈華微笑」と言つて、以心伝心の代表的な例とされています。

もうすぐ満中陰を迎える故人は、正に以心伝心の交流を持ちながら、日々の御供養に勤めるものです。』という内容です。

これまでは漫然と檀徒宅にお配りし、

「毎日読んでから日めくりして下さい。分かってもらえらるし、亡くなった方の冥福を祈るためにもいいですよ。」などと言ってお配りしていたが、今回執筆するにあたり、何回か読み返しをして、冷汗をかく思いをせざるを得なかった。本来の意味も参究せず、うわべだけの理解のままでは駄目、という思いの為である。特に「以心伝心の交流を持ちながら日々の御供養に勤めたいものです。」という文言を見て、今後諷経を勤めるにあたっては、さらに工夫をしていかなければと思った。

現在拙寺では、毎週土曜日に参禅の方と共に坐禅・朝課を行っている。東日本大震災の後、未だに被災者住宅として借りている民間アパートからお寺へ通勤する日々ではあるが、このような活動を始めることができるようになってきた。坐禅も朝課も一緒に行う方がいると、やはり気が引き締まる思いがする。それ程大したことではないかもしれないが、僅かばかりでも精進を続けていかなければと得心している。

サントピアアップ活動報告

平成二十四年度「定例総会」のご報告

七月一日(日)、午後三時より平成二十四年度「定例総会」が、林香院さま(仙台市新寺)を会場に開催されました。

当日は二十八名ご出席のもと、震災によりご両親を失った子どもたちを支援する「JETOみやぎ」事務局長 野川貴之氏に講師を依頼し、ボランティア活動(支えあうこと)の必然さについて考えつつ、各々の意識の向上を図る目的で研修会も併せて開催されました。

本年度の事業としては、被災されながらも変わらずにご支援を下さった皆様に報いるべく活動を従来通りに戻し、また、ハガキ事業に加え新たな事業も試みつつ当会としても復興に向け邁進していくことを今総会で決議致しました。

平成二十三年度「教育支援」のご報告

「ボッ・ベン小学校へ文具の贈呈」

昨年十一月十六日、平成二十一年度に建設支援をさせて頂いたコンポントム州「ボッ・ベン小学校」に、ノートや鉛筆などの筆記用具及び、サッカーボールやバレーボール(ネット含む)、世界地図などをご支援させて頂きました。

◆文具支援の支援費……………九七、五六九円

※昨年十月、ボッ・ベン小学校の生徒及び地域の方々から、この度の震災に対し「希望の絵」や義援金が寄せられました。

ハガキ・切手の集計報告 (二月十四日到着分)

◆未投函ハガキ総数……………	八、七〇一枚
◆未使用切手換算額……………	七九、八八八円
◆実質ハガキ売上金……………	三七五、〇〇〇円
◆実質ハガキ収益金……………	三七五、〇〇〇円

平成二十三年度

◆寄付金総額……………九二一、五六三円

新規事業の開拓について

「『古本リサイクル』事業趣旨」

当会の活動と収入の柱であるハガキリサイクル事業が、近年の時代背景や震災の影響もあって大変厳しい状況にあります。この現状を踏まえ当会では昨年来、新規事業について様々な面を考慮しつつ模索検討してまいりました。結果、「古本のリサイクル」活動をまずは試験的に行い、事業化に向けて実現性を探ってみたいと考え試行致します。

●皆様のご家庭にある、漫画や文庫本等の買い取りを「BOOKOFF(ブックオフ)」の※宅配便(無料集荷)を利用し、インターネット上で依頼してご提供頂きます。

●ご提供商品の集荷をご依頼する際、商品の買い取り額の入金先口座をご提供者さまにご指定頂きます。これを当会の口座に指定することで、当会への寄付(支援)金となります。

●ご提供者ご自身にとって役立つ古本をリサイクルすることによって、今度はカンボジアの子どもたちの「絵本や「文具」として役立たせられるのではないかと期待致すところでありです。

●ご提供下さった方には、後日お礼状と領収証を発送させて頂きたく存じますので、お手数ですが当会事務局宛まで電子メールまたは、お電話にてご提供者さまの発送情報をお知らせ下さい。

●提供下さいます方は、インターネットで「ブックオフ集荷」で検索・ご依頼下さいますようお願い致します。

指定口座『ゆうちょ銀行』

記 号 18110
口座番号 05490731
名 義 サントピアアップみやぎボランティアカイ

『チャリティバザー』の開催に向けて

今年、十月上旬に仙台市泉区「根白石市民センター」に於いて、宮曹青が主催するカンボジア教育支援チャリティバザーが開催されます。

現在、開催に向けて目下調整中のところではありますが、今回のバザーには第二十一教区さまの全面的な協力と、「仙台市」と「宮城県国際交流協会」の後援も頂いており、心強い限りに存じます。当会としても力を注いで臨む所存でありますので、お力添えの程何卒お願い申し上げます。

【ホームページ更新 (二十四年度版)】

URL: <http://www.santapi.com/>

【書き損じハガキの送り先】

〒九八六〇一九九 石巻市相野谷字五味前二一七七一
河北郵便局留『サントピアアップ』宛

【支援金受付】

郵便振替口座

名 義 サントピアアップみやぎボランティア会
口座番号 0229016148744

【事務局】

〒九八六〇二二一

宮城県石巻市大森字水出七 建立寺内

TEL・FAX 〇二二五・一六二一〇八八〇(専用)

E-mail: info@santapi.com

事務局長 坂本 顕一

平成二十四年度 定例総会 開催



議長を務める錦織泰禪師



挨拶をする奥野会長

去る四月十九日午後三時より、ホテルニュー水戸屋において「平成二十四年度定例総会」が開催されました。初めに副会長天野大真師より開会宣言、会長奥野秀典師より挨拶があり、続いて事務局が定足数を満たす計百十名（出席者四十七名、委任状六十三通）により今総会の成立を報告しました。議長には第六教区錦織泰禪師が選出され、議長進行のもと次の議案について審議され、全て承認されました。終わりに副会長北村暁秀師の閉会宣言を以って無事終了いたしました。

【審議事項】

- ① 東日本大震災復興支援活動報告並びに決算報告
- ② 平成二十三年度事業報告
- ③ 平成二十三年収支決算報告並びに監査報告
- ④ 平成二十三年事業計画（案）
- ⑤ 平成二十三年収支予算（案）

引き続き同所に於いて合同委員会が開催され、会長より役員・委員へ委嘱状が交付されました。その後、各委員会ごとに分かれ本年度各委員会事業について打合せが行われました。



委嘱状の伝達を受ける北村副会長



委嘱状の伝達を受ける岩崎監事



無 聖 第65号（平成24年8月1日発行）

表紙題字 宗務所長 三宅良憲 老師
編 集 宮城県曹洞宗青年会
発 行 人 奥野 秀典
事 務 局 名取市愛島小豆島字清水坂
149-1 慶雲院内
TEL・FAX 022-382-1810（専用）
U R L <http://www.miya-sousei.com>
e-mail info@miya-sousei.com

表紙写真



東日本大震災
被災地慰霊行脚

（七月二十八日 気仙沼）

事務局だより

カンボジア教育支援

『チャリティバザー』の開催のお知らせ

日時 十月上旬を予定しております

場所 仙台市泉区「根白石市民センター」

※詳細については現在調整中ですので、決まり次第ご案内させていただきます。

編集後記

震災から一年が過ぎ、宮曹青の活動にも、その時々に応じた様々なものが求められております。何を成すべきか日々考え、行動し、考え、行動し・・・文字通り手探りながらも活動に邁進してきた一年でありました。今年度もひきつづき、そのひとコマ、ひとコマを記録しご報告して参りたく存じます。